

食べ物の「もったいない！」を減らすには何ができるかな？

少しの工夫で減らせます!

食品ロス

10月は食品ロス削減月間です



ぼくと一緒にやってみよう!

「食品ロス」とは、本来食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。食品ロスは、家庭からだけでなく、飲食店やホテル、スーパー等からもたくさん発生していて、消費者である私たちの行動が関わっている場合も。一人ひとりの心掛けで、社会全体で食品ロスを減らしていきましょう!

問合せ 環境政策局 循環型社会推進部 資源循環推進課 ☎ 222-3946 FAX 213-0453

外食で!

食品ロスを減らすための工夫や心掛け



食べ残さない工夫

メニューを選ぶときは、量が多すぎないか、アレルギーや苦手な食材が入っていないか確認しましょう。小盛メニューを確認するのも良いですね。また、食べきれなかった料理は、お店に持ち帰りができるか相談してみましょう。



買い物で!



商品を選ぶときは…「てまえどり」

商品棚の奥にある商品から取り出していないですか? 期限までに食べ切れる時に、期限が近い手前の商品を選ぶ「てまえどり」は、お店で廃棄される食品を減らすことにつながります。すぐ食べる時は「てまえどり」を心掛けましょう。



使い切れなかったら!



フードドライブをご存知ですか?

～まだ食べられる食品を必要な方へ～

ご家庭で使い切れず余ってしまった食品を持ち寄り、必要な方や福祉施設等に寄付する「フードドライブ」という活動があります。京都市内でも、スーパーなどで定期的に行われていますので、ぜひご提供をお願いします。



フードドライブ開催情報はこちら



京都市全体で食品ロスはどれくらい? /

写真は、89世帯3日分の燃やすごみから出てきた手つかず食品です。京都市全体の食品ロスは年間5.4万トン。これは市民一人あたり毎日おにぎり1個分のご飯を捨てていることとなります。



2021年度京都市調査

キャンペーン実施中!

食品ロスに関する知識や食品ロス削減に対する取組をクイズ形式で学べる「京の食品ロスゼロ検定」! 全11問のクイズに全問正解した方の中から、抽選で景品が当たります。

(応募締切: 令和5年10月31日)

キャンペーンサイトはこちら!



市内から出されるごみの量は、市民の皆様のご協力により、ピーク時(平成12年度)の半分以下となっています。引き続き、ごみの減量、分別・リサイクルの推進にご協力をお願いします。

お願い! 携帯扇風機、電子たばこ、モバイルバッテリーなどリチウムイオン電池使用製品は、ごみ収集車やごみ処理施設での火災の原因となるので、資源ごみや燃やすごみでは**絶対に出さないでください!!!**

「分別するのめんどくさい」「少しくらい大丈夫」が大きな火災事故につながります!

東北部クリーンセンター 破砕施設火災(平成31年3月)

修繕期間 約**6カ月**
修繕費 約**1.5億円**



クリーンセンターのベルトコンベア上での火災

リチウムイオン電池などの 充電式電池や充電式の電化製品

充電式電池が使われている主な電化製品



外装がプラスチックでも、家庭ごみはもちろん、資源ごみ(プラスチック類)として絶対に排出しないでください。

リチウムイオン電池使用製品の詳しい排出方法については、こちらからアクセスしてください。

